

平成19年度第3回公益事業振興補助事業審査・評価委員会議事要旨

1. 日 時 平成19年12月4日(火) 午前10時20分～
2. 場 所 (財)日本自転車振興会 7A会議室
3. 出席者 〈委員〉 小松隆二、栃本一三郎、西貝宏伸、藤井龍子、宮嶋泰子、
山岸秀雄

(敬称略)

〈本会〉 猪野理事、中村課長、篠原課長

4. 議 題 (1) 平成20年度の補助要望状況について
(2) 平成20年度補助事業採択の基本的な考え方について(案)
(3) その他

5. 議事要旨

(質疑応答の内容は以下のとおり (○は委員の発言 ●は本会側の発言)
(議題に対する質疑)

(1) 平成20年度の補助要望状況について

- 補助事業における謝金については、受け取る側にも低くとも仕方ないという心構えが必要。
- 原則補助基準額(5万円)以内で認めているが、今後はさらに徹底することとしたい。
- 従来から継続している事業についての見直しについてはどうなっているか。
- チェックリストを用いて、既に目的を達成していたり、継続して実施していながらも効果が上がっていないと判断した事業は見直しを行っている。
- 環境の分野は、世間的にも注目されてよい分野だと思う。自転車を用いた環境に良い事業を増やしても良いのでは。
- 環境という分野を狭く捉えると要望はあまり伸びていないが、自転車駐車場の整備等も都市環境と捉えることが出来る。

(2) 平成20年度補助事業採択の基本的な考え方について(案)

- 要望件数が増えるように、募集の広報を頑張って公益補助事業をより多くの人に知って貰うということの努力をされたい。

- 補助事業者が固定化していくのは好ましくないのではないか。オリンピックや環境サミットなど、その年にふさわしい補助事業のテーマも取り上げてはどうか。
 - 2008年の北京オリンピックについては、補助の枠を広げている。

- パラリンピック出場者のユニフォームにも補助すべきでないか。
 - パラリンピック出場者のユニフォームへの補助要望も提出されている。

- 「平成20年度補助事業採択の基本的な考え方について(案)」を了承。

以上